

Music Dialogue 第1回

この演奏会を初回として、私たちの団体では、聴衆の皆様や演奏者と一緒に、今までとは少し異なった趣向で“音楽や芸術を楽しむ集い”を創っていきたいと思います。今回は、日本を代表する国際的ヴァイオリニストである戸田弥生さんと、これからの日本の音楽界を率先していく若手奏者による室内楽をお楽しみいただきます。後半では、奏者とお客様との対談セッションをさせていただく予定です。“何を思いながら、弾いていたのですか・・・”“演奏する前は、どのような心境なのですか・・・”、また奏者による曲の解説をお聞きいただくなど、皆様と気軽な対話を楽しめればと思っています。3月8日夕刻にお会いできる事を楽しみにお待ちしております。（大山 平一郎）

【プログラム】 ベートーヴェン 弦楽四重奏第1番ヘ長調 Op.18-1
ブリッジ アイリッシュ・メロディー H. 86a
後半はアーティストとお客様のダイアログ

出演 戸田弥生 （ヴァイオリン）
 千葉清加 （ヴァイオリン）
 大山平一郎（ヴィオラ）
 金子鈴太郎（チェロ）

【開催日時】 2013年3月8日（金）18時30分

※開場 18時 20時半終了予定

【会場】 南麻布セントレホール

東京都港区南麻布 4-12-25 南麻布セントレ 3F

【チケット】 4500円（ワイン・軽食代込み）

【お申し込み】 PC・携帯から <http://goo.gl/mL9D5>

尚、キャンセルは3月1日までに、以下のお問い合わせ先までお願いいたします。

以降のキャンセルにつきましては、3000円をご請求させていただきます旨
ご了承下さい。



【お問い合わせ】 有限会社アーツブリッジ 080-1062-8304

【主催】 Music Dialogue 実行委員会

【協力】 南麻布セントレホール MACH クラブ・有限会社アーツブリッジ

アーティスト プロフィール

戸田弥生（ヴァイオリン） 4歳からヴァイオリンを始める。1985年日本音楽コンクール第1位。桐朋学園大学を首席で卒業後、アムステルダムのスウェーリンク音楽院に留学。1993年エリーザベト王妃国際音楽コンクール優勝、後2005年には同コンクールにてヴァイオリン部門の審査員を務めた。1996年YCA国際オーディションで優勝し、翌年ニューヨークデビュー。国内外で幅広い活動を展開、日本の著名オーケストラはもとより、ロンドン・フィルハーモニー、モスクワ・フィルハーモニー、スウェーデン放送交響楽団、ハーグ・レジデンティ管弦楽団等と共演。CDは「エネスコ、J.S.バッハ 他」と「J.S.バッハ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ&パルティータ全曲」（共に音楽之友社）、「イザイ無伴奏ヴァイオリン・ソナタ全曲」と「20世紀 無伴奏ヴァイオリン作品集」（共にエクストン）、珠玉の小品集「子供の夢」（オクタヴィア）等をリリース。1994年、第4回出光音楽賞を受賞。使用楽器は、上野製薬株式会社より貸与されている1740年製ピエトロ・ガルネリ。オフィシャルホームページ <http://yayoi-toda.com/>



千葉清加（ヴァイオリン） 千葉県出身。東京藝術大学音楽学部卒業。東京藝術大学内にて安宅賞を受賞。第49回全日本学生音楽コンクール全国大会小学校の部で第1位。併せて兎束賞・東儀賞を受賞。第1回YBP国際音楽コンクール総合第1位。第1回名古屋国際音楽コンクール第1位。第72回日本音楽コンクール第3位。第76回読売新人演奏会に出演。第3回仙台国際音楽コンクール第5位。これまでに、清水高師、ジェラルド・ブーレの各氏に師事。室内楽を岡山潔、山崎伸子の各氏に師事。これまでミッシェル・マイスキー、ユーリー・バシュメット、ヴァレリー・オイストラフ、ゲルノット・ヴィンショッフ、クリシュトフ・ウェグジンと共演するとともに、別府アルグリッチ音楽祭では室内楽奏者として参加。東京交響楽団、香港フィルハーモニー管弦楽団、ニューフィルハーモニー千葉、藝大フィルハーモニアなどとも共演。各地でリサイタルを行うほか、室内楽の演奏会、ゲストコンサートマスターなどで活躍中。The Chamber Players（メンバー）。



大山平一郎（ヴィオラ） 京都生まれ。ヴァイオリンを東儀祐二、江藤俊哉、鷺見三郎各教授に師事。66 年日本音楽コンクール、ヴァイオリン部門で入賞。70 年、英国のギルドホール音楽学校卒業。70 年に米・インディアナ大学でプリムローズ、リッチ、ギンゴールド、シュタルケル、プレスラー各教授に師事。72 年からマルボロ音楽祭にヴィオリストとして参加。73 年、カリフォルニア大学助教授に就任。翌年ニューヨーク、国際ヤング・コンサート・アーティスト・オーディション優勝。79 年にジュリーニが率いるロサンジェルス交響楽団の首席ヴィオラ奏者に任命された後、指揮の勉強を始め、87 年、プレヴィンに同楽団の副指揮者に任命される。米国サンタ・フェ室内音楽祭、ラ・ホイヤ・サマーフェスト音楽祭の芸術監督を歴任。99 年から 5 年間、九州交響楽団の常任指揮者。04 年から 08 年まで大阪交響楽団、音楽顧問・首席指揮者。07 年から 3 年間ながさき音楽祭音楽監督を歴任。05 年、‘福岡市文化賞’を受賞。08 年、文化庁の‘芸術祭優秀賞’を受賞。現在、サンタ・バーバラ室内管弦楽団・音楽監督兼常任指揮者。CHANEL Pygmalion 室内楽シリーズ・アーティスト・ディレクター。The Chamber Players（メンバー）



金子鈴太郎（チェロ） 桐朋学園ソリスト・ディプロマコースを経て、ハンガリー国立リスト音楽院に学ぶ。国内外の数々の国際コンクールで優勝、入賞。2004 年松方ホール音楽賞大賞受賞。バロックから現代曲までの幅広いレパートリーを演奏し、これまでに日本やハンガリー、オーストリアにおいて数々の世界初演をおこなう。01 年ハンガリーで現代音楽グループ ”shyra” を結成。2003 年～2008 年 大阪交響楽団 特別首席チェロ奏者。現在は、各オーケストラにゲスト首席として招聘されるほか、 サイトウ・キネン・オーケストラ、 ジャパン・ヴィルトゥオーゾ・シンフォニーオーケストラ等で活躍中。トウキョウ・モーツァルトプレーヤーズ首席チェリスト、Super Trio 3℃、長岡京室内アンサンブル、The Chamber Players 各メンバー。マネジメント YAMAHA A&R, Inc. オフィシャルサイト <http://rintarokaneko.com/>

